

戦争の悲しみを忘れず、恒久平和を願う ～ 令和元年度東通村戦没者追悼式～

終戦から74年目を迎え、第66回東通村戦没者追悼式が9月4日、村体育館山手に建立されている戦没者慰霊碑前で厳かに行われました。

追悼式は先の大戦で犠牲となった、二百余柱の戦死者の英霊を追悼するとともに、併せて、世界の恒久平和を願う行っているものです。

式典では、参列者全員で黙祷を捧げた後、越善靖夫村長、丹内俊範村議会議長の追悼のことは後、小林義明村遺族会長が、「戦争によって最愛の肉親を失った遺族にとって、癒されることのない悲しみは言葉では語り尽くせないほど深くつらいものでした。先の大戦から学んだ戦争の悲惨さと平和の尊さを、次の世代にしっかりと伝え、令和という新しい時代を生きる私たち遺族は、この悲しい歴史を

二度と繰り返さないことをお誓い申し上げます。」と追悼のことは述べました。

このあと、参列者一人一人が二百余柱の英霊に白菊の献花を行い戦没者の冥福を祈り、平和を誓いました。



越善村長の追悼のことは



小林会長の献花



丹内村議会議長の追悼のことは

東通村に来て4ヶ月。ただいま奮闘中！ ～ 東北電力（株）行政事務研修員 五十嵐裕也さん～

東通村の皆さま、はじめまして。7月から東通村役場経営企画課地域戦略Gで勤務しております「五十嵐裕也」と申します。山形県上山市出身の34歳です。引っ越して来た当初は、初めて経験する業務はもとより、生活面においても慣れないことが多々ありましたが、職場の方のみならず地域の皆さまにも大変親切にいただき、今では家族共々楽しく過ごしております。

今後も東通村での様々な経験、新たな出会いを楽しみにしておりますので、お見かけの際にはお気軽にお声掛けください。どうぞよろしくお願いいたします。

